



“一丁啮”が行く！

第98回：ホンコンシャツ

皆さん、猛暑の夏、如何お過ごしになりましたか？ クールビズで快適に・・・でしたか？ このクールビズ、今や完全に定着しましたが、ちょっと調べてみました。ネットの百科事典ウィキペディアにはこう書かれています。

「小泉内閣にて環境大臣に就任した小池百合子（現東京都知事）が、2005年、内閣総理大臣の小泉純一郎から、『夏場の軽装による冷房の節約』をキャッチフレーズにしたらどうかとアドバイスされ、環境省の主導のもと、ネクタイや上着をなるべく着用せず（いわゆる「ノーネクタイ・ノージャケット」キャンペーン）、夏季に摂氏28度以上の室温に対応できる軽装の服装を着用するように呼びかけた。「クール・ビズ」（COOL BIZ）という表現は、2005年4月に行われた環境省の一般公募によって選ばれたものである。」（一部割愛修正）

つまり、『室温を28度以上にして、上着を着ずにノーネクタイでビジネスしよう』ということですね。

皆さん如何ですか？ 室温、28度ですか？ 今やノーネクタイだけは普及しましたが、室温を28度以上にしているところは少ないんじゃないでしょうか。東北の震災直後は電力消費を抑えるということでみんな28度を守りましたがそれが今やどうですか。ホテルなどでは半袖のカッターシャツ1枚ではかなり寒く感じます。のどもと過ぎれば・・・ですかね。

1960年頃、帝人がテترون素材を開発しました。その素材を使ってアイビー・ルック「VAN」の生みの親、石津謙介氏が半袖のワイシャツを製作しました。ワイシャツが長袖しかなかった時代に石津さんは半袖にして「ホンコンシャツ」というネーミングをつけて販売したところ、それが大ヒットしたのでした。まさにクールビズの走りです。袖のところにスリットを入れて、袖口をめくるスタイルが当時のビジネスマンの間で流行りました。私が社会に出た1972年当時は車も電車もエアコンなど付いてなかった時代でホンコンシャツにネクタイというのがビジネスマンの標準的なスタイルでした。



現在はクールビズということでノーネクタイが当たり前になりました。ホテルでの会合などで上着を着ているときはノーネクタイでもいいんですが、上着を着ないで半袖カッターシャツにノーネクタイだと普段着（カジュアルウェア）とあまり変わらないし、ビジネススタイルではないように思えてなりません。ですので、私は上着を着ないときは当時のビジネスマンの格好、すなわちホンコンシャツにネクタイというスタイルがいいのではないかと考えています。（まわりからは『ネクタイしていると暑苦しい』と言われていたのですが（^;）



また、サポートでは一昨年からスーパークールビズということでサポートポロシャツを作り、外回りをする人には少しで涼しく過ごせるようにしています。また、社内のエアコン設定は28度にはしていますので、ポロシャツやホンコンシャツで快適に過ごすようにしています。



のほそ道 前ページからのつづき

2. 悪王子&元悪王子（あくおうじ、もとあくおうじ）

実は、悪王子と元悪王子の町名はちゃんと関係があるんですよ。両方とも、悪王子社という社があった場所なのです。

悪王子というのは、素戔鳴尊（すさのおのみこと）の荒魂（あらみたま）のことです。だから、「悪」という字がつくのか！と簡単に思ってしまうんですが、実はここでいう悪とは善悪の悪ではなく、「すごい」とか「すまじい」とかいった意味で、現代風に言えば「超」といった表現になるんですよ。

現在は、悪王子社って八坂神社の境内にあります。2回ほど引っ越してはるってことですね～♪ 皆さんはご存知でしたか？

文字にすると、どことなく怪談話に出てきそうですが由来を知ると面白いですよ！

因みに「**あQ**」の由来は、弊社システムの『**あんぱんQ**』と京田辺にゆかりのある一休さんを掛け合わせました（^^）

えっ？ そんなもん、解ってはる？ 失礼しました・・・



読者 訪問



第80回

お伺いした会社 ビ・オフィス
お話を伺った方 代表 田中敏雄さん
会社の所在地 〒603-8213 京都市北区紫野下石龍町 3-2
連絡先など TEL 050-7115-0274 FAX 075-201-5084
事業内容 商品企画販売業

今回はいろいろなご縁があって近年親しくさせていただいているビ・オフィスの田中さんのところにお訪ねしました。

田中社長は学校卒業後、印刷会社にお勤めになり、その後、パチンコ台を除くパチンコ店の設備全般を取り扱う会社に転職されました。パチンコ業界は1995年がピークで、当時は全国にパチンコ店が約2万店、売上規模は30兆円といわれましたが、その後減少の一途をたどり、2011年には約半分、13兆円になったそうです。知り合いの業者がパチンコ業界から次々と撤退していく中、ご自身も32年間お勤めになったその会社を退社され、2012年に「ビ・オフィス」として独立開業されました。



商品をバックにした田中社長



タイガース模様のデザインルーペ

当初は今までの知識や経験を活かし、遊技場サポート事業を始められましたが、いくつかの試行錯誤

の末、デザインルーペにたどり着きます。パチンコの玉入れ箱を作っていた知人からデザインルーペを売ってくれないかと頼まれたのがきっかけとか。ところが、そう簡単には売れません。預託で預けていた商品が大量に返品されてくることもしばしば。「ちゃんと買い取ってもらえる商品にしなければ」という思いから、付加価値をつけたデザインルーペにしようと、自らもファンである阪神タイガースの球団事務所を訪れ、タイガースルーペの制作を提案しますが、そう簡単には作らせてもらえません。

粘り強く何度も足を運ぶうちにやっと制作許可が下り、2015年2月にタイガースルーペの販売にこぎつけました。同年5月には阪神タイガース公式オンラインショップでの取扱いが始まり、8月には阪神百貨店梅田本店のタイガースショップでの販売も始まりました。まさにあきらめずにコツコツと努力されてきた成果です。



また、今年からは米国生まれの「ジョイソケット」というものの販売もはじめました。スマートフォンやタブレットの裏に吸着させるグリップ型のアクセサリで、これもいろいろな模様のものの他に阪神タイガースバージョンを作りました。

2年前に代理店販売をはじめた石材専用滑り止め溶剤「スキップライト」も、最近神戸ハーバーランドの“モザイク”での施工実績ができ、徐々にではありますが軌道に乗りつつあるとおっしゃいます。



タイガース版ジョイソケット

人と人との出会いを大切に『いいもの』を企画・製作・販売することを通じて、お客様と地域の繁栄を願う企業を目指したいとおっしゃる田中社長のこれからのますますのご活躍を期待しております。



のほそ道

☺シリーズをご活用いただいているいろいろなお客様を
尋ねて感じたことや学んだことを徒然なるままに……

こんにちは！【京都地名由来シリーズ】

日中は相変わらずとっても暑いのですが、朝夕はなんだか凌ぎやすい気持ちよさが出てきましたね！
ひぐらしの鳴く声も秋を少しだけ感じさせてくれますね・・なんて、感傷的な「🐣Q」です～(^^)

さて、今月も京都シリーズです♪

当の京都市民もあまり聞いたことがない？面白い地名をご紹介します！

1. 天使突抜(てんしつきぬけ)

その昔、太閤さん(秀吉のことですよ)が南北に伸びる通りを一つを造ります。
その通りの途中にあったのが古くからの神が祭られている由緒ある神社「五条天神宮」でした。



義経と弁慶が会った場所としても知られているこの五条天神は「天使様」とよばれ当時の人々に親しまれていたのですが、通りを境内に無理やり通してしまった為「天使様を突き抜けてまで道を作らした通り」と皮肉の意味を込めて？天使突抜と名付けたとか・・ ほんまかな？
(裏ページに続く)

2016年 9月発行

Presented by Sys:port corp.

第105号



シスポート情報提供機関誌

info